

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 6 日現在

機関番号：12603
 研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2008～2011
 課題番号：20520213
 研究課題名（和文） アメリカ・ゴシック研究と現代批評
 研究課題名（英文） American Gothic and Contemporary Literary Theory
 研究代表者 加藤 雄二（KATO YUJI）
 東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授
 研究者番号：60224549

研究分野：アメリカ文学

科研費の分科・細目：文学 英米・英語圏文学

キーワード：米文学 批評理論

1. 研究計画の概要

アメリカ 19 世紀のゴシック作家などを現代批評の観点から論究し、国際的な成果を挙げること。

2. 研究の進捗状況

海外の学会などでの研究発表を毎年着実に積み重ねている。研究発表の内容は、本研究に関連が深い 19 世紀作家ナサニエル・ホーソーン、ハーマン・メルヴィル、とくにエドガー・A・ポーについてである。ホーソーンについては、現代作家カフカや現代の批評理論との関係から、作品の構造や歴史化の方法を議論している。ポーに関しては、日米両方のポー生誕 200 周年記念学会で研究発表を行ない、アメリカ文学史の文脈でポーが重要な作家であり、いわゆる主流のロマンティックな作家たち以上に根源的な視点を持った作家であることを批評的に証明しようとした。メルヴィルについても、国際メルヴィル学会ですでに研究発表を 2 回行っている。最初のもは、国際メルヴィル学会から出版された英文の論文集の 1 章として出版された。もうひとつも論文にまとめ、出版のため学会に提出してある。今年度メルヴィルに関する 3 回目の研究発表をローマで予定しており、2012 年 1 月のアメリカ MLA 全国大会でメルヴィル学会のパネル・セッションへの参加が決まっている。また、5 月には日本ナサニエル・ホーソーン学会からの招きにより、シンポジウムにおいて本研究にかかわる研究発表を行う予定である。研究発表をもとに論文執筆を行っており、昨年度は 2 本の論文を発表、今年度も 2 本をすでに提出済みである。それらは学内雑誌におもに掲載されているが、研究の総括として学外の雑誌への投稿を増やすつもりである。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。
 例年、2 回以上の国際学会での研究発表を行い、基礎的な論文を出版してきている。論文の一つは国際的な論集の 1 章として出版されているので、相応に評価すべき達成度にあると考えられる。

4. 今後の研究の推進方策

国内外の研究団体の学会などへの参加が決まっているので、従来通り、研究発表の成果を論文として発表してゆく方向を基本とする。最終年度以降は、本研究の成果をより本格的な論文にまとめる作業に入る。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 4 件）

1. 加藤雄二 「「エドガー・アラン・ポーとウラジーミル・ナボコフにおける回想と記憶のポリティクス：「アナベル・リー」、「初恋」、『ロリータ』をめぐって」（東京外国語大学論集, 2010）

2. 加藤雄二 「「アメリカ南部社会におけるリアリズムと女性像：ケイト・ショパンとウィリアム・フォークナーの諸作品における沈黙と語り」（東京外国語大学論集, 2010）

3. 加藤雄二 「エドガー・アラン・ポーの 200 年」（東京外国語大学総合文化研究所『総合文化研究』, 2010）

4. 加藤雄二 「あらかじめ失われたものの痕跡：Kazuo Ishiguro の「日本」と語り」（東京外国語大学総合文化研究所『総合文化研究』, 2009）

〔学会発表〕（計 7 件）

1. Yuji Kato, “Readings on the Margin: Emily Dickinson’s Posthumous Poetics and the English Romantics,” at Emily Dickinson International Society’s conference in Oxford GB, August 2010.
2. Yuji Kato, “ ‘ Would that be **all** excellent **books** were **foundlings**’: Herman **Melville** and Nathaniel Hawthorne in ‘Hawthorne and His Mosses,’ Moby-Dick, and Other Texts,” at the summer meeting of Nathaniel Hawthorne Society in Maine US, June 2010.
3. Yuji Kato, “ ‘ When We Were Orphans ’ : Edgar A. Poe, Vladimir Nabokov, and the Directions in Contemporary Culture, ” at the International Edgar Allan Poe Society in Philadelphia US, October 2009.
4. 加藤雄二「ポーを（脱）歴史化する：モダニズムと現代批評におけるテキストと作家像の形成」日本ポー学会，第2回全国大会，慶応大学，2009年9月。
5. Yuji Kato, “ The Galapagos, the Mediterranean, and the Power of Enchantment: Herman **Melville**’s Wandering Narrations in “ The Encantadas, ” “ at Herman Melville Society’ s International conference in Jerusalem, Israel, June 2009.
6. Yuji Kato, “Writing the Heterogeneous South: Incredible Narrations in the Works of Kate Chopin and William Faulkner,” at “Faulkner and Chopin” conference at Center for Faulkner Studies, Southeast Missouri State Uni., October 2008.
7. Yuji Kato, “Nathaniel Hawthorne’ s Double Outsets,” at Nathaniel Hawthorne Society’ s summer meeting at Bowdoin College, Maine US, June 2008.

[図書] (計1件)

Pawel Jedrjeko ed., *Hearts of Darkness: Melville, Conrad, and Narrative of Oppression* (Poland, MStudio, 2010).のうち第6章“In the Dark Narcissism of Se(a)cret Sh(e)aring/Sh(e)aring Se(a)cret”を担当。